

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（RALP）を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

項目	手術2日前	手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目～5日目	手術後5日目～退院まで	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術に対して分からないことや不安なことを医療者に表出し、精神面・身体面を整えて手術を受けることができる 手術後の経過が理解でき、不明点があれば医療者に質問し、解決できる 			<ul style="list-style-type: none"> 手術後に必要な処置を受け入れることができる 管の違和感、吐き気や頭痛などの症状が出現した時、医療者に伝えることができる 		<ul style="list-style-type: none"> 創痛などの自覚症状が出現した時、医療者に伝えることができる 骨盤底筋運動を生活に組み入れることができる 退院後の日常生活注意事項、外来受診の必要性が理解できる 		
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 入院の際、内容確認のために普段飲んでいる薬（医師から処方された薬）を一度預かります。続けて薬を飲む場合は、説明します 	<ul style="list-style-type: none"> 手術前日の昼間と寝る前に、下剤の薬を飲みます 	<ul style="list-style-type: none"> 6時頃に、体温、血圧を測ります 処置室または病室で洗腸をします（便の量を確認しますのでトイレの水を流さずに、ナースコールを押してください） 肌着を脱いで手術衣を着用します。 弾性ストッキングを着用します コンタクトレンズ、めがね、入れ歯を外してください 医師、看護師と一緒に手術室に行きます 手術前の薬は、医師の指示に従いましょう 手術前に腕から点滴をします（朝一番の手術の場合、手術室で点滴します） 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室からベッドで部屋に戻ります 医師の指示で、酸素マスク、心電図をつけます 痛み止めの管が背中に入っていますが、痛みがある時は痛み止めを使いますので、お知らせください 看護師が定期的に全身状態の観察を行います 食事が食べられるようになるまで点滴をします 足に深部静脈血栓症予防のフットポンプを装着します 	<ul style="list-style-type: none"> 診察時に経過についてお話しします（主治医） 傷の消毒を行います 医師の指示があるまでは、ベッド上ではフットポンプを装着します 痛みが強いときには鎮痛剤を使用します 食事が摂取でき、発熱がなければ医師の指示で点滴を抜きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 傷の消毒を行います 痛みが強いときには鎮痛剤を使用します 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが強いときには鎮痛剤を使用します 術後1週間目頃、造影検査を受け、尿の管を抜去します 尿の管が抜けた後は、排尿記録をつけます 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血、尿検査があります 			<ul style="list-style-type: none"> 手術後に採血があります 		<ul style="list-style-type: none"> 採血があります 		
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 			<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示があるまでベッド上で過ごします。寝返りは可能ですが、ベッドを起こす事はできません 		<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示で歩行ができるようになります 手術後、最初に歩行する方は、看護師と一緒に歩きます。その後、気分不快などがなければ、一人で歩けます 尿の管やドレーンが入っているときは、歩行時に引っ張らないように気を付けましょう 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> 昼食から低残渣食となります。病院食以外は摂取しないようにしましょう 			<ul style="list-style-type: none"> 飲水、食事はできません。うがいはできます 		<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示で飲水が始まります。その後、食事が始まります。 		<ul style="list-style-type: none"> 普通食 
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません 爪が伸びている場合は、切りましょう 			<ul style="list-style-type: none"> 手術後はベッドの上で歯磨き、顔拭きをします 		<ul style="list-style-type: none"> 体を拭きます 		<ul style="list-style-type: none"> 体を拭きます 医師の許可が出れば尿の管が入ったままでもシャワーに入れます。ただしお湯にはつかれません。 
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません 			<ul style="list-style-type: none"> 手術中に尿を出すための管が入ります 		<ul style="list-style-type: none"> 尿の管が入っています 便秘があれば、医師と相談し下剤の内服を開始します 		<ul style="list-style-type: none"> 尿の管が抜けた後に4時間しても尿がでなかったり、出にくい時、血尿が濃くなる場合はお知らせください。場合によっては尿漏れの可能性があるため、尿取りパッドを当ててもらうことがあります 尿漏れ防止として、骨盤底筋運動を説明します。
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が今までの生活についてお話を伺い、手術前後の経過について説明します 主治医より本人・ご家族へ手術の説明を行います。その後、手術同意書に署名・捺印していただきます 麻酔科の医師が麻酔について説明します。麻酔同意書に署名していただきます 手術室看護師が訪問をします 			<ul style="list-style-type: none"> 手術室は3階です 手術は、()番目です。一番目の方は、8時頃に手術室へ行きます。二番目以降の方は、連絡が来てから手術室へ行きます 手術室からの連絡は全て病棟に入りますので、ご家族の方は病室か7階のデイルームでお待ちください 貴重品はご家族に預けるか金庫に入れて下さい（鍵はご家族に預けてください） 		<ul style="list-style-type: none"> 手術後、医師から手術の説明があります 血栓を予防するために、膝が曲がるようになれば足首のそり返しや足の曲げ伸ばしをしましょう 		<ul style="list-style-type: none"> パンフレットを用いて退院後の日常生活について説明します 
その他	<ul style="list-style-type: none"> 準備するもの（T字帯2～3枚、バスタオル1枚、腹帯2～3枚、尿とりパッド10枚、ストロー又は薬のみ） 深部静脈血栓を予防するための弾性ストッキングをお渡しします 診断書などのご希望がある場合は、外来棟の文書受付に申請して下さい（書類にはお名前、生年月日を事前にお書きください） 			<ul style="list-style-type: none"> 深部静脈血栓を予防するための弾性ストッキングを脱ぐ際には、看護師からお知らせします 		<ul style="list-style-type: none"> 入院費は退院日に精算となります。前もって金額がお知りになりたい方は、看護師または事務員にお知らせください 		

※イラストはMPCのイラスト集より転載

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院

宮崎大学医学部附属病院
泌尿器科外来 0985-85-9317
泌尿器科病棟 0985-85-1898
総合予約室 0985-85-1225
※時間外(17:00～8:30)は病棟に電話をおかけください